

第三期特定健康診査等実施計画

テレビ朝日健康保険組合

最終更新日：平成 30 年 08 月 17 日

特定健康診査等実施計画（平成30年度～平成35年度）

背景・現状・基本的な考え方			
No.1	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者と特退の特定健診受診率が5.5% ・半数近くの人々の健康状態が把握できていない 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者、特退の特定健診受診率を上げる
No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の方が人数が多い ・男性は動機付け支援対象者よりも積極的支援者対象の方が多く ・男性は全組合集計よりも肥満の割合が高く、5.0%を超えている(54.71%) 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の積極的支援対象者を中心に保健指導を実施する
No.3	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導は首都圏の被保険者に対してだけ実施 ・期間も4月～8月に特定健診を受診した人を対象としているため、実施率は3.0%前後 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・地方勤務者にも実施 ・被扶養者にも実施
No.4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費は右肩上がりで増えている ・特に5.5歳過ぎから一人当たり医療費が急増している ・加入者全体で見ると、生活習慣病1.6%、がん8%、メンタル3% ・循環器系疾患、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患が上位を占めている 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くとも4.0歳からの疾病予防対策が重要 ・特に生活習慣病対策、がんの早期発見が健保の対策として大事
No.5	<ul style="list-style-type: none"> ・一般本人は生活習慣病1.8%、がん5%、メンタル4% ・内分泌・栄養・代謝疾患が2位、循環器疾患が4位、新生物は5位だが、新生物は年々増加している ・脂質異常症、糖尿病、高血圧性疾患が突出している ・新生物では乳がんが高い 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・一般本人は、生活習慣病特に脂質異常症、糖尿病、高血圧疾患対策が重要 ・新生物は乳がん対策を重視 ・事業主との協働によるメンタルヘルス対策が大事
No.6	<ul style="list-style-type: none"> ・特退の1人当たり医療費は4.5万円を超えている(全体の3倍) ・特退本人では生活習慣病とがん合わせて5.3%を占めている ・循環器系疾患、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患が上位を占めている ・高血圧性疾患、脳梗塞などの循環器系疾患が高い ・さまざまな新生物疾患にかかっている 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器系疾患等の生活習慣病には重症化予防対策が大事 ・新生物は早期発見のために人間ドックを毎年度受診するよう勧奨する
No.7	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費抑制のために後発医薬品の使用割合を高めることは重要 ・厚労省データとほぼ同じ割合で推移 ・平成3.2年9月に8.0%の目標に向けてさらなる周知が必要 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・保険証を渡す時に「ジェネリック医薬品希望」シールを配布(継続) ・「ハピルス」にジェネリック差額通知が掲載されていることを周知(継続)
No.8	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療費は疾病分類別医療費の中で呼吸器系疾患に次ぐ第2位である。 ・歯科医療費のうち9割近くが歯周病関連である 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・健保主催の歯科健診受診者を増やす ・歯周病と糖尿病等の生活習慣病との関連性を周知させる ・6カ月ごとにかかりつけ歯科医で定期健診推奨

基本的な考え方（任意）
-

特定健診・特定保健指導の事業計画

1	事業名 日帰り人間ドック（40歳以上）	対応する健康課題番号	No.1, No.4, No.5, No.6																																																						
↓	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業の概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> 事業目標 加入者の健康状況の把握が目的なので、被保険者本人は1.0.0%を、特退、被扶養者も複数回の受診勧奨の実施によりできるだけ受診率を上げていく </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">アウトカム指標</td> <td style="width: 10%;">H30年度</td> <td style="width: 10%;">H31年度</td> <td style="width: 10%;">H32年度</td> <td style="width: 10%;">H33年度</td> <td style="width: 10%;">H34年度</td> <td style="width: 10%;">H35年度</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>1人当たり医療費</td> <td>150,000円</td> <td>148,000円</td> <td>146,000円</td> <td>144,000円</td> <td>142,000円</td> <td>140,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アウトプット指標</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> <td>H32年度</td> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受診率</td> <td>80%</td> <td>82%</td> <td>84%</td> <td>86%</td> <td>88%</td> <td>90%</td> </tr> </table> </td> <td style="padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">H30年度</td> <td style="width: 33%;">H31年度</td> <td style="width: 33%;">H32年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> <tr> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			事業の概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> </table>	対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員	方法	-	体制	-	事業目標 加入者の健康状況の把握が目的なので、被保険者本人は1.0.0%を、特退、被扶養者も複数回の受診勧奨の実施によりできるだけ受診率を上げていく	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">アウトカム指標</td> <td style="width: 10%;">H30年度</td> <td style="width: 10%;">H31年度</td> <td style="width: 10%;">H32年度</td> <td style="width: 10%;">H33年度</td> <td style="width: 10%;">H34年度</td> <td style="width: 10%;">H35年度</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>1人当たり医療費</td> <td>150,000円</td> <td>148,000円</td> <td>146,000円</td> <td>144,000円</td> <td>142,000円</td> <td>140,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アウトプット指標</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> <td>H32年度</td> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受診率</td> <td>80%</td> <td>82%</td> <td>84%</td> <td>86%</td> <td>88%</td> <td>90%</td> </tr> </table>		アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	評価指標	1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円	140,000円		アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度		受診率	80%	82%	84%	86%	88%	90%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">H30年度</td> <td style="width: 33%;">H31年度</td> <td style="width: 33%;">H32年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> <tr> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> </table>	H30年度	H31年度	H32年度	被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する	前年度と同	前年度と同	H33年度	H34年度	H35年度	前年度と同	前年度と同	前年度と同
事業の概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> </table>	対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員	方法	-	体制	-	事業目標 加入者の健康状況の把握が目的なので、被保険者本人は1.0.0%を、特退、被扶養者も複数回の受診勧奨の実施によりできるだけ受診率を上げていく																																																		
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員																																																								
方法	-																																																								
体制	-																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">アウトカム指標</td> <td style="width: 10%;">H30年度</td> <td style="width: 10%;">H31年度</td> <td style="width: 10%;">H32年度</td> <td style="width: 10%;">H33年度</td> <td style="width: 10%;">H34年度</td> <td style="width: 10%;">H35年度</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>1人当たり医療費</td> <td>150,000円</td> <td>148,000円</td> <td>146,000円</td> <td>144,000円</td> <td>142,000円</td> <td>140,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アウトプット指標</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> <td>H32年度</td> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受診率</td> <td>80%</td> <td>82%</td> <td>84%</td> <td>86%</td> <td>88%</td> <td>90%</td> </tr> </table>		アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	評価指標	1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円	140,000円		アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度		受診率	80%	82%	84%	86%	88%	90%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">H30年度</td> <td style="width: 33%;">H31年度</td> <td style="width: 33%;">H32年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> <tr> <td>H33年度</td> <td>H34年度</td> <td>H35年度</td> </tr> <tr> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> <td>前年度と同</td> </tr> </table>	H30年度	H31年度	H32年度	被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する	前年度と同	前年度と同	H33年度	H34年度	H35年度	前年度と同	前年度と同	前年度と同												
	アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度																																																		
評価指標	1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円	140,000円																																																		
	アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度																																																		
	受診率	80%	82%	84%	86%	88%	90%																																																		
H30年度	H31年度	H32年度																																																							
被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。特退、被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する	前年度と同	前年度と同																																																							
H33年度	H34年度	H35年度																																																							
前年度と同	前年度と同	前年度と同																																																							

2 事業名 スーパー人間ドック

対応する健康課題番号 No.4, No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：44～59、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

より正確に自分の健康状態を把握してもらうために100%の受診率を目指す

評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
アウトカム指標						
1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円	140,000円
アウトプット指標						
受診率	78%	80%	82.5%	85%	87.5%	90%
受診機関数	17数	18数	19数	20数	22数	24数

実施計画

H30年度	H31年度	H32年度
事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。	前年度と同	前年度と同
H33年度	H34年度	H35年度
前年度と同	前年度と同	前年度と同

3 事業名 家族健診（40歳以上）

対応する健康課題番号 No.1, No.4



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者/任意継続者/特例退職被保険者
方法	-
体制	-

事業目標

受診率が低い被扶養者と特退の受診率を上げて健康状態を把握するため、受診率を上げる（目標70%）

評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
アウトカム指標						
ヘルスリテラシーの向上	20人	30人	40人	50人	60人	70人
アウトプット指標						
受診率	57.5%	60%	62.5%	65%	67.5%	70%

実施計画

H30年度	H31年度	H32年度
案内を自宅に郵送。未受診者に再度案内を送り受診勧奨する	前年度と同	前年度と同
H33年度	H34年度	H35年度
前年度と同	前年度と同	前年度と同

4 事業名 特定保健指導

対応する健康課題番号 No.2, No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

メタボ予備軍に自分の健康状態を把握してもらうため、全員を対象に実施、実施率70%を目指す

評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
アウトカム指標						
1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円	140,000円
アウトプット指標						
特定保健指導実施率	45%	50%	55%	60%	65%	70%

実施計画

H30年度	H31年度	H32年度
首都圏勤務者だけでなく、地方勤務者、被扶養者も対象にする	前年度と同	前年度と同
H33年度	H34年度	H35年度
前年度と同	前年度と同	前年度と同

5 事業名 日帰り人間ドック（35歳～40歳）

対応する健康課題番号 No.4, No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：35～39、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

加入者の健康状況の把握が目的なので、被保険者本人は100%を、被扶養者も複数回の受診勧奨の実施によりできるだけ受診率を上げていく

評価指標	アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
		1人当たり医療費	150,000円	148,000円	146,000円	144,000円	142,000円
評価指標	アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
		受診率	80%	82%	84%	86%	88%

実施計画

H30年度	H31年度	H32年度
被保険者一般は事業所の協力を得て対象者に案内、未受診者に受診勧奨。被扶養者は未受診者に対する受診勧奨を複数回実施する	前年度と同	前年度と同
H33年度	H34年度	H35年度
前年度と同	前年度と同	前年度と同

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数							
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	3,405 / 4,576 = 74.4 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	2,638 / 3,298 = 80.0 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	767 / 1,278 = 60.0 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	265 / 720 = 36.8 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	255 / 700 = 36.4 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	10 / 20 = 50.0 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-

特定健康診査等の実施方法（任意）
-

個人情報の保護
-

特定健康診査等実施計画の公表・周知
-

その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
-